

1. 人と水

水は、人間の生活において、様々な場面で利用されています。

水は、温まりにくく冷めにくい、熱容量や気化熱などが他の物質よりも大きいなどといった特性があります。温まりにくいということは、少ない量の水に大きなエネルギーを蓄えられるということで、そう考えると大変便利な性質です。こういった特性を利用して人間などの動物は汗を蒸発させることによって体温調節をしていますし、産業の世界では冷却水やボイラーの水として使っています。



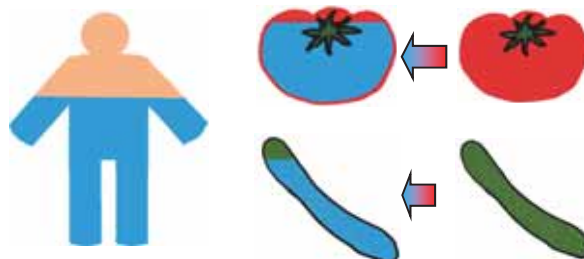
もう一つの水の性質でよく利用される便利な性質が、ものをよく溶かすということです。この性質は生き物の体の中では栄養を溶かして、体の隅々に運ぶという形で利用されていますし、産業などの世界ではものを溶かす溶媒として利用されています。

なお、固体のものは「氷」、気体のものは「水蒸気」と呼ばれます。

表 水の性質

分子量	凝固点 (°C)	沸点 (°C)	密度(g/cm ³)
18	0	100	(25°C) 0.997

人間の体の60%以上は水分です。
野菜のトマトやきゅうりではさらに多く、90%以上が水分です。



2. 地球上の水

地球には、約14億km³の水があると言われていますが、約97%は海水であり（地球の表面の70%が海。そのうち98%が太陽の光の届かなくなる200m以深の「深海」）、淡水はわずか2.5%程度、さらに、この淡水のほとんどは、南極・北極等の氷や地下水として存在しています。河川や湖沼などの人が利用しやすい状態で存在する水に限ると、その量は0.001億km³（0.007%）でしかありません。

